

## 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

### 報告書資料 一般 - 88

学校名・団体名	奈良市立鶴舞小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	地域と協働し、ESDの理念に基づく教育を実践する
活動・研究の意義、目的	
<p>◎意義 ユネスコスクールとして他校や他地域との連携、学校敷地内の「ぼうけんの森」を活用した防災教育・環境教育・世界遺産学習に取り組み、ESDの理念に基づくより充実した教育活動を展開する。</p> <p>◎目的 ・ESDの教育理念に基づく教育活動として、防災教育や環境教育、キャリア教育を通して、命や自然の大切さを学び、進んで地域に貢献しようとする意欲を高め、『自ら学び考え、高め合う子』を育成する。このことによって、変化の激しい時代に生きる子どもたちは、将来にわたって役立つ力を身につける。</p> <p>◎活動内容 ・避難所キッズスタッフとして、支援する側としての自覚と責任を持ち、進んで人のために役立つ意欲を育てる。 ・キャリア教育の一貫として、避難所キッズスタッフとしての活動を地域の方と協働することを通して、自らの役割や地域とのつながりを考える。 ・「ぼうけんの森」の間伐材が災害時の薪燃料として活用できることを知り、ぼうけんの森の整備活動が環境を守るだけでなく、防災にもつながっていることを理解する。 ・防災教育を中心に環境教育・世界遺産学習・人権教育・キャリア教育などがESDの教育理念により、連続性を持った取組となるようにこれまでの教育活動を地域との協働に基づき再構築する。 ・「ぼうけんの森」に自生しているツタと「あまづらせん」（ツタの樹液を煮詰めたもの）の関連をもとに平城京と自らのつながりを体感し、世界遺産のあるまち「なら」に育っていることに誇りを持ち、進んでその素晴らしさを発信しようとする意欲を高める。 ・校区を流れる秋篠川に自生している植物「からむし」から繊維を取り出し、織物を作ることを通して、豊かな自然の恵みを生活に生かしてきた先人の知恵を学び、持続可能な社会づくりに積極的にかかわろうとする意欲を育てる。また、この織物が奈良晒の原型となったことから地域の伝統産業のすばらしさについて実感をもって理解する。</p> <p>成果 ・座学だけでなく、体験的活動を通して、防災や環境について自分ごととしてより深く学習することができた。 ・地域との協働を通して、学校の教育活動への理解が進み、より積極的な参画していただくことができた。 ・子どもたちが、積極的に防災について取組の成果を発信することを通して、保護者や地域全体の防災意識を高めることができた。 ・積極的に奈良のすばらしさを発信することを通して、世界遺産のあるまち「奈良」に育ったことを</p>	

誇りとする姿勢を育てることができた。

・地域と共に新しい教育活動に取り組むことで、コミュニティ・スクールとしての役割が明確となり、地域とともにある学校づくりをより推進することができた。

・ユネスコスクール全国大会に参加し、本校の取組について発表することを通して、その取組についての評価をしていただき、改善点を見つけることができた。また、他校の優れた実践から学び、本校の取組に取り入れることができた。

#### ◎活動の時期および内容

##### ①防災教育について

9月自主防災防犯協議会の方と避難所運営について学ぶ

10月避難所運営キッズスタッフとしての役割を考える。(5年生)

避難所運営キッズスタッフとして要支援者(車いす利用者への介助・視覚障害者への支援・聴覚障害者への支援・高齢者身体機能の疑似体験とその支援)への支援を体験する。(6年生)

11月学んだことを保護者や地域に発信する

##### ②豊かな自然を生かしたキャリア教育

6月「からむし」の収穫と繊維の取り出し作業

9月「からむし」の収穫と繊維の取り出し作業

11月「からむし」の繊維を織り上げる

2月「あまづらせん」再現作業

「からむし」の取組をまとめ、学んだことを奈良晒の専門家に伝え、専門家から奈良晒について学ぶ

3月「あまづらせん」パンフレット作り

##### ③ユネスコスクール全国大会(ESD研究大会)参加

11月これまでの取組をまとめる

12月全国大会に参加し、本校の実践を発表し、他の地域の実践を学ぶ

#### ◎成果

・座学だけでなく、体験的活動を通して、防災や環境について自分ごととしてより深く学習することができた。

・地域との協働を通して、学校の教育活動への理解が進み、より積極的な参画することができた。

・子どもたちが、積極的に防災について取組の成果を発信することを通して、保護者や地域全体の防災意識が高まった。

・積極的に奈良のすばらしさを発信することを通して、世界遺産のあるまち「奈良」に育ったことを誇りとする姿勢を育てることができた。

・地域と共に新しい教育活動に取り組むことで、コミュニティ・スクールとしての役割が明確となり、地域とともにある学校づくりをより推進することができた。

・ユネスコスクール全国大会に参加し、本校の取組について発表することを通して、その取組についての評価をしていただき、改善点を見つけることができた。他校の優れた実践から学び、本校の取組に取り入れるよう努力する。